

I.	はじめに .....	1
II.	開発の背景 .....	5
	1. コミュニケーションの発達支援	
	2. 個に応じた教材教具の開発とシステム運用の柔軟性	
III.	開発の方針 .....	8
	1. システム開発に当たっての当面の使用目的	
	2. システム構築に当たっての留意点	
VI.	開発の経過 .....	11
	1. 事例の検討	
	2. 音声認識プログラムの開発	
	3. 音声認識の結果	
	4. 現段階における音声認識の精度と限界	
	5. 情緒面に障害をもつ事例への適用の可能性	
V.	今後の方策と可能性 .....	32
	1. コミュニケーションの発達支援に対する音声認識の有効性	
	2. 音声認識に伴う評価システムの必要性	
	3. 学際的な共同研究の必要性	